公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハイタッチこくば				
○ <b>保護者評価実施期間</b>	R7年 2月 15日		~	R7年3月14日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名	
○従業者評価実施期間	F	R7年 3月 10日	~	R7年 3月 13日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名	
○事業者向け自己評価表作成日		R7年3月15日			

## ○ 分析結果

		事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1		・まず参加したい、楽しそう! と思える活動の提供(楽しめる場所、挑戦できる場所、安心できる居場所作り ・子どもたちが楽しみながら参加できる遊びや運動療育を行い 運動機能訓練を行いコミュニケーション能力向上に努めてい る。	と思いますが、子どもたちに"楽しそう""ワクワクする"とい
2		こどもたちのことを十分に理解し支援や個別計画作成、健康や 発達の状況について共通理解など。	日々職員間で話し合い、研修を重ね、一人一人の特性を理解するようにし、日々の出来事から、その日ごとに適切な支援が出来るように意識しています。常に正解がないので「本当にこの支援の方法で良いのか?」ということは保護者様や関係機関と情報共有を行い支援にあたっています。	り一層信頼を高めていけるよう意識した支援を行っていきま
3			利用開始時の説明や日ごろの共有など、まだ足りないところもありますが、ご家族やご兄弟が安心して子育てや家族関係の構築が行うことができるように、ご家族の子育てに関する困りごとに対する相談など職員とのコミュニケーションがとりやすい環境づくりを意識しています。	り一層ご家族様・関係各所に信頼を高めていけるよう意識し た支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な面談や助言、父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家 族への支援。また、きょうだい向けのイベントの開催等によ り、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだ いへの支援。	ように職員一同心がけていますが、保護者様が十分に満足して	
	必要に応じて、バリアフリーやこどもが個別の部屋や場所を使 用することが認められる環境づくり。	事業所として児童間の関わりやそこで生まれるコミュニケーションのキッカケづくりを強みに運営してきたが、児童の特性に応じて個室での対応が必要な際、相談室以外の場所がないこと。必要に応じてバリアフリー設備。	いきたいと考えています。バリアフリー設備や内装について
3	.,	ブログでの日々の活動の様子公開や体調などの連絡については 共有できていると思っていたが、非常災害時の避難場所や訓練 など含め、保護者様の家族支援に関する研修会・日々の様子の 情報について共有の機会が少なかったと反省しております。	に、非常時の対応についての周知の徹底、保護者様の家族支援に関する研修会の情報について積極的に情報共有し、機会